

平成 26 年 2 月 21 日(金)
午後 2 時から
門真市役所第 3 会議室

門真市教育委員会地域教育文化課
説明資料

平成 25 年 第 3 回

門真市議会定例会文教常任委員会における戸田議員の質問要旨と答弁内容

1. これまでの議会での答弁内容について

(質問) まず、このザイトクあるいはヘイトスピーチ勢力に関して、これまで門真市議会でもどのように答弁されてきたか、教委は当然全てを十分に知っていなければならないわけですが、常任委員会も本会議も含めて、列挙してもらいたい。

(答弁) 少し長くなりますが、お時間を頂戴し、答弁内容を読ませていただきます。
平成 23 年 9 月の本会議において、特定団体が在日韓国・朝鮮・中国人のほか外国籍住民の方々に対して行っている行為につきましては、本市条例の理念からしても、差別を助長し、人権を侵害しかねない行為であると危惧するものであり、人種、民族、門地など人が生まれながらにして持ち、みずから選択する余地のない点や国籍などの属性をとらまえての差別行為は、許されるものではないと考えるものでございます。

さらに憂慮すべきは、これらの行為が成長過程にある青少年にも多大なる影響を与えるということであり、市としましては、引き続き市民への教育、啓発の取り組みを積極的に進めることにより、人権に関する教育や啓発を強化するとともに、交流の場を通し、多様な文化、習慣を持つ外国人と日本人との相互理解を促進していく必要があると改めて強く認識するものでございます。

今後、市内で差別落書きはもちろんのこと、差別を扇動と思われる行為があった場合の対応でございますが、当該事象の事実収集や詳細な調査を行った上で、その事実が社会に重大な影響を及ぼす悪質かつ陰湿な行為である場合は、市民の人権を守る立場の市として、必要に応じて明確な見解を公に示すなど毅然とした対応を行うとともに、さらに一層人権に関する市民啓発事業の充実に努めていきたいと考えております。という答弁をしております。

平成 24 年 6 月の建設文教常任委員会において、特定団体の外国籍住民の方々に対する行為につきましては、差別を助長し、人権を侵害しかねない行為であり、許されるものではないと認識しております。

教育委員会といたしましては、これまで人権教育等を通して、それぞれの民族や文化を尊重し、お互いを支え合う共生社会の実現に向け指導してまいりました。

各学校におきましては、これまでも人権尊重の視点に立って、在日外国人に対する偏見や差別をなくし、国際友好・親善・協調の態度を育成するよう指導してまいりました。と答弁し、平成24年12月の建設文教常任委員会において、施設の使用に関しては、集団的にまたは常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある組織の利益になると認めるときは使用を制限、使用許可の取り消し、使用の停止等を行うこととし、また、教育委員会所管の指定管理者の職員に対しても、議会質問・答弁等さまざまな資料を含め、情報提供する機会を設けることについて考えていくとともに、警察による行政対処暴力対応研修へ参加させたいと考えております。と答弁しております。

2. 議会答弁を受けてどのような研修を行ってきたのかと、今後について

(質問) 今の答弁で確認されたように、暴対法対応で各種条例の改訂が審議され2012年12月議会での答弁で、教委は民間団体も含んで各種施設の管理者や職員に対して、議会答弁通りの対応がちゃんと出来るようにするために、ザイトクの存在とそれへの対応方針についてしっかり研修を行うと答弁したのだが、実際にはどのような研修を、いつ、どのように実施してきたか？

- ・ 議会答弁の内容を資料配布したか？
- ・ 私がザイトク問題について職員研修に使えるように中立的客観的な映像解説のDVDを自費作成して、教委や市長部局に提供しているが、こういう映像資料は使ったか？
- ・ 誰が講師を務めたか？

(答弁) 平成25年4月に、所管の直営施設及び指定管理者に対して、施設使用許可の制限について通知を行い、その中で人権侵害を行っていると思われる団体の動画のURLを紹介しております。併せて議会答弁の内容についても配布し、施設職員への周知に努めるよう求めました。

また、研修につきましては、今年2月15日に開催されました、門真市行政対象暴力対策連絡協議会研修会に直営施設及び指定管理施設の担当者が参加しております。また、今月6日には、地域教育文化課及びスポーツ振興課で所管する生涯学習施設の担当者を集め、生涯学習施設連絡会を開催し、議員提供のDVDを使用させていただき、これを視聴することにより周知をはかりました。講師等は特に配置しておりません。

(質問)

研修の進行や文書資料は使ったのかなどについて、もう少し詳しく述べて下さい。

(答弁) 生涯学習施設連絡会の司会進行は、地域教育文化課の西山課長補佐が行いました。また、文書での資料提供は行っておりません。

(質問) 研修をやった時の受講者の反応や意見はどのようなものであったか？
ザトク集団の存在を知らなかった人が多かったのではないか？
映像を見た感想としてはどのようなものがあったか？

(答弁) ヘイトスピーチを耳で聞いたことはあったが、実際見たのは初めての人が多く、在特会の存在を知らない人もおり、恐怖を覚えるといった意見がございました。

(質問) 毎年定例的に行って行くべきと思うが、どうか？
今後の内容充実についてはどう考えるか？
また、市民部に置かれている人権政策課を住民の安全と尊厳を守る市の人権施策の中心部署と位置づけて、人権政策課との連携を深めていくべきと思うが、どうか？

(答弁) 施設使用につきましては、研修等を通じまして、条例等に掲げる各施設の設置目的、使用制限等を確認するよう徹底してまいりたいと存じます。
この問題に限らず、生涯学習施設間の連携、協力も視野に入れ、今後も毎年研修会を開催していきたいと考えております。
人権政策課とも連携するなど研究を進めてまいります。